

## 学 会 録 事

### 会 員 移 動

(昭和37年12月16日より昭和38年3月31日まで)

### 新 入 会 (3名)

### 住 所 変 更 (8名)

### 退 会 (5名)

尾崎弘忠, 尾松滝雄, 川村実, 古井戸良雄, チャールズ・イー・タトル商会

### 寄 贈 文 献

日本菌学会会報 Vol. IV, No. 2, 3.

БОТАНИЧЕСКИЙ ЖУРНАЛ, Tom. 47, No. 10, 11, 12, Tom. 48, No. 1.

山 崎 浩: テングサ類増殖に関する基礎的研究, 静岡県水産試験場伊豆分場研究報告  
第19号, pp. 1-92, 1962.

### 本学会懇談会

昭和38年4月3日, 日本水産学会大会を機に本学会懇談会が昨年同様東京虎ノ門共済会館に於いて開催された。出席会員は33名でインド VENKATARAMAN 氏(非会員, 東大留学中)が特別参加。

須藤俊造幹事の司会により始まり, 山田幸男会長の挨拶, 幹事側より簡単な庶務会計報告があった後, 田中剛氏より昭和38年度総会の説明, 福島博氏より南極の話, 渡辺篤氏より VENKATARAMAN 氏の紹介, 同氏の挨拶等があった。その後会食を楽しみながら各会員の自己紹介と現在の仕事についての話に移ったが, 時間不足のため, 約半数は次回廻しということで散会した。出席会員は次の通り(敬称略)。

秋岡英承, 秋山和夫, 新崎盛敏, 榎本幸人, 藤山虎也, 福島博, 稲垣貫一, 井上晃男,

石島渉, 岩井寿夫, 岩本康三, 片田実, 加崎英男, 喜田和四郎, 小林艶子, 日下部台次郎, 丸山晃, 三浦昭雄, 斎藤雄之助, 瀬木紀男, 志平依久子, 須藤俊造, 高野秀昭, 田中剛, 寺本賢一郎, 津村孝平, 徳田広, 殖田三郎, 渡辺篤, 山田幸男, 山田家正, 山崎浩, 吉田忠生

### 昭和 37 年度庶務会計報告

(昭和 37 年 4 月 1 日より昭和 38 年 3 月 31 日まで)

#### 庶務報告

1. 昭和 37 年 4 月 3 日 東京虎ノ門共济会館に於て本学会懇談会を開催。出席会員 41 名。次の講演あり。(1) 瀬木紀男;「アメリカを巡りて」, (2) 田中剛氏;「サイゴン大学の話」及び「フランスヴィアリッツに於ける第 4 回国際藻類学会に出席して」, (3) 新崎盛敏氏;「アメリカに於ける海藻学者の活動」
2. 昭和 37 年 4 月 25 日「藻類」第 10 巻第 1 号発行。
3. 昭和 37 年 8 月 25 日「藻類」第 10 巻第 2 号発行。
4. 昭和 37 年 10 月 8 日 第 10 回総会に先立ち本学会評議員会を名古屋瑞穂短大に於て開催。出席者 8 名。
5. 昭和 37 年 10 月 8 日第 10 回総会を名古屋大学豊田講堂にて開催。出席会員 38 名。(1) 開会挨拶, (2) 会長挨拶, (3) 会食, (4) 議長瀬木紀男氏選出, (5) 庶務会計報告, (6) 予算審議をすることに決定, (7) 附則第 1 条の改正(会長選出方法)の決定, (8) 附則第 4 条の改正(役員の任期)を決定, (9) 役員の任期と会計年度を一致させることに決定, (10) 創立 10 周年記念事業について討論, (11) その他, (12) 田中剛氏講演;「フランスの話(スライドによる)」, (13) 映画「志摩半島」, (14) 懇親会, (15) 閉会挨拶
6. 昭和 37 年 10 月 31 日庶務幹事田沢伸雄氏移動に伴い退任。
7. 昭和 37 年 12 月 20 日「藻類」第 10 巻第 3 号発行。
8. 昭和 38 年 2 月 28 日 昭和 37 年度総会に於ける規約改正に伴う次期会長選挙及び評議員選挙, 開票の結果次の諸氏が当選。  
会長山田幸男, 評議員北海道地区: 川端清策, 稲垣貫一, 東北地区: 中沢信午, 関東地区: 新崎盛敏, 福島博, 須藤俊造, 中部地区: 斎藤雄之助, 近畿地区: 今堀宏三, 米田勇一, 中国・四国地区: 藤山虎也, 九州地区: 岡田喜一
9. 昭和 38 年 3 月 18 日 次期推薦評議員として, 会長より八木繁一, 生駒義博両氏に依頼。
10. 昭和 38 年 3 月 31 日 現在会員数 389 名。

## 会 計 報 告

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費 205 人 (287 件)	134,500		
バック・ナンバー (204 冊)	37,292	出版費 { X-1	44,580
		{ X-2	43,900
		{ X-3	48,100
利 子 { 普通予金 (拓銀)	20		
{ 振替貯金	5	発送費 { X-1	7,850
{ 振替貯金小切手口座	668	{ X-2	7,900
寄附金 (37.4.3 虎ノ門会館に 於ける本会懇談会より)	1,471	{ X-3	8,170
		通 信 費	6,445
		消 耗 品 費	720
		謝 金	1,000
小 計	173,956	小 計	168,665
前年度繰越金	57,454	次年度繰越金	62,745
総 計	231,410	総 計	231,410

## 役 員 移 動

須藤俊造氏は、本会創立以来永年に亘り本会の編集幹事として尽力されたが、このたびの評議員改選の結果、関東地区選出新評議員に当選されたので、本会会則附則第3条「会長および幹事は評議員を兼任することはできない」の項に基づき、後任幹事には、昭和38年4月1日付を以って片田実氏が依嘱された。また在札の新幹事として同日付を以って松永圭朔氏が依嘱された。